

平成29年度宮城県NPO等による心の復興支援事業（補助事業）一覧

	事業名	事業者	事業概要	交付決定額 (千円)
1	被災者と地域住民コミュニティのIT活用による絆づくり	公益財団法人 仙台応用情報学研究振興財団	復興地域の住民を対象として、交流の場を創るためのパソコン等の簡単な使い方教室と交流会を定期的に開催し、地元住民相互や自治会との絆づくりと初歩のICT活用につなげる事を目的とする。自治会役員も交えた交流会で地域の絆づくりと活性化につなげ、簡単なICT活用で生活の質の向上、生きがい創りにもつなげる。	2,000
2	交流&傾聴カフェ	特定非営利活動法人 仙台傾聴の会	仮設住宅集会所、復興住宅集会所での「傾聴茶話会」開催。仮設住宅個人宅、独居個人宅、高齢者施設訪問の傾聴活動、また、県内各地において「交流&傾聴カフェ」を開催する。被災者と住民が共に支えあい、主体的なかかわりが持てるように傾聴しながら寄り添い、生きがいになる地域を積極的に自分たちで作り上げていく、そんな地域の支えあいの構築に繋げていくカフェを各地で開催する。	3,500
3	仙台から歴史を学び地域住民同士のコミュニケーション活性化を目指す	一般社団法人復興支援 士業ネットワーク	東日本大震災により、災害公営住宅へ移転した被災者、地元住民、避難先・避難元の住民も一体となった自主的な地域住民主催による歴史勉強会開催を通じて、「心の復興」を図る。①政宗公等先人たちがいかに戦災や震災から立ち上がってきたかを学ぶために仙台市内外の史跡等への歴史探索ツアーの実施。②歴史探検ツアー実施に先立ちなぜ先人たちが立ち上がることができたのか勉強会の実施。	1,840
4	大谷地区まちづくり支援マネジメント事業	一般社団法人 プロジェクトアース	大谷地区の若い世代が中心のまちづくり協議会「大谷里海づくり検討委員会」の事務局機能をサポートし、検討委員会とともに地域資源情報を調査・収集・整理。地域資源情報を活用したワークショップ等を開催し、大谷地区のまちづくり計画の作成やアクションプラン等の作成、地域運営の仕組みづくりを行う。また、若い世代が地域の復興を考え積極的にまちづくりに参加し、多世代が信頼し合いながら地域資源を活かしたまちづくりを行うことで、地域住民の地域に対する愛着を育み、地域で暮らす生きがいを生むことを目的とする。	1,849
5	地域と仮設住宅並びに新たな公営住宅でのとなりぐみづくり事業	NPO 心と体のケアサ ポート・Kコラボ	仮設住宅の集約化が急がれる中で特に歳を重ねた方々が、復興公営住宅に入居されるまでの間、取り残され感や不安感・孤独感の軽減。そして復興公営住宅に入居した皆さんの不安感・孤立感・孤独感の払拭をめざしたとなりぐみづくりの支援。仮設住宅や公営住宅の集会所並びに地域の場所（サロンやディサービス）でアロマタッチケアをしながらの傾聴活動を行う。	1,961
6	ひとり親家庭とチャイルドドアの子どもたちのための学習サポート2	チャイルドネットジャパン	ひとり親家庭が増え、家に帰っても誰もいない、一人ぼっちの子どもたちのための居場所づくりを目的とし、寄り添ってあげる大人がいない子どもたちのために、昨年度に引き続き、社会家族のネットワークで学習サポートを行い、チャイルドドア問題に直面している子ども、家族の未来を明るく、優しく照らせる事業を行う。	2,000
7	高齢化率が38.6%の鶴ヶ谷が、今回の大震災で全半壊率が18.7%の被害を受け、しかも東日本大震災で沿岸部より避難して来られた方が多く住む、鶴ヶ谷を元気にする交流事業	つるがや元気会	家に引きこもりがちになる高齢者も、外に出やすくなる、出たくなる仕組みを考え、実践する事で、大震災の被害に負けず、一時も早く立ち直り、明るく元気のある、住んでいて良かったと思う町にする。避難被災者を含めて、鶴ヶ谷地区を活性化し、明るく元気な町にする為、健康講座・市民講座、童謡を唄う会、ロコモ体操教室、サロン「ほっとカフェつるがや」、「つるがや元気まつり」を開催する。	1,522
8	出島と女川の楽しみづくり	一般社団法人コミュニ ティスペースすみねこ	女川町出島は震災以降、小、中学校の合併や保育園の閉所に伴い、島での若い世代が全く生活しておらず、高齢者が実際80名ほどで暮らしている。島は2つの地区から形成されており、島を一つにしていきたいといながらもなかなか難しい状況である。楽しい集まり場所を作りながら、島を盛り上げ、島民が生き生きと生活し、生活不活病にならないようにしていく。また、島の方と他地域の方が交流を持てるようなプログラムも考えていく。	1,640
9	「花の小道くつろぎの場」事業	NPO法人こころの森	石巻南浜津波復興祈念公園予定地内の市民活動広場に、現在「がんばろう石巻看板」「震災伝承館」「苗木育苗ハウス」がある。その間に「花の小道くつろぎの場」を造り、地域住民、地域外から来た人たちとの交流を促進する。津波で街がなくなった場所に、きれいな花の庭園とくつろぎの場を造ることで、復興への意識が芽生え、心の復興にも繋がる。定期的なお茶会を開催し交流会を実施する。花の寄せ植え教室などを開催し、花緑のある豊かな生活を提案する。	2,000
10	心の声に寄り添う真善美聖な活動と社会貢献社会を育む支援事業	特定非営利活動法人 LEAF26	地域や支援事業に溶け込めずにいる孤立者やストレス障害を有する方に対し、宮戸・野蒜地区での定期的なサロン活動やワークショップを通じて、こころの声に寄り添いながら、真善美聖な対応で地域復興を共働し、被災地住民のこころの声に寄り添う活動をする。また、多くの団体との連携などを勧めながら、社会貢献活動の大切さを宮城県から発信したい。	1,149
11	仮設住宅・復興公営住宅支援を軸とした、東北応援力・コミュニティカ・傾聴力UPプロジェクト	石巻復興きずな新聞舎	県外からのボランティアの受け入れや市内で活動する他団体と連携したボランティア活動のコーディネート、および被災地スタディツアーを開催することによって、さまざまな形で東北・被災地・石巻に関わる人材を増やし、震災の風化防止や「石巻応援団」づくりに取り組む。また、仮設住宅・復興公営住宅の住民の孤立防止およびコミュニティ形成を目的としたサロン活動を行う。	2,000
12	ISHINOMAKI金曜映画館 夜空の上映会	一般社団法人 ISHINOMAKI2.0	石巻市では、中心市街地の衰退とともに映画館も減少し、東日本大震災によって残っていた映画館も流失してしまった。石巻のまちなかに映画を取り戻したいという思いから、「わたしのまちの映画館」をキャッチフレーズにISHINOMAKI金曜映画館は活動をスタートした。市民参加型で様々な場所で映画上映を行い、毎年夏に行っている野外上映会は年々参加者や協力者が増え、震災後の街なかに新しい文化やつながりを創出している。	854

	事業名	事業者	事業概要	交付決定額 (千円)
13	子どもの気概を育む教育プロジェクト	一般社団法人おしかの学校	当事業の目的は、宮城県石巻市の地域の子どもたちが将来や社会の課題に主体的に向き合うことができるようになるための教育機会を提供することである。学校を中心にした多組織協働モデルの体制のもとで、効果的な学習方法とESDのアプローチを組み合わせた教育機会を提供する。それによって、子どもたちの自主的な学習の継続と主体性の向上を図り、課題に向き合うための気概を持つことができる。	1,569
14	被災者への就労支援を通じた、支え合い活動推進事業計画	一般社団法人パーソナルサポートセンター	昨年度の心の復興事業で被災者と地域の住民が内職作業等の軽易な作業を共に行うことで醸成してきたコミュニティを基盤とし、利用者同士が行い始めた支えあい活動を支援し、被災者が出来ることで主体的に行える支え合い活動を推進していくことでそれぞれが役割を担い、参加の機会を創出していける活動を支援していくことを目的とする。	2,344
15	仙台市若林区六郷東部コミュニティ再生プロジェクト	一般社団法人ReRoots	六郷東部地域では、町内会活動や祭り、運動会などの地域行事の継続が難しくなり、コミュニティの維持が困難になっている。身近な生活からコミュニティの基盤作りを目的とした取組を行い、農業を基礎に生活に根差した企画で地域のつながりを存続させ、自助・共助のコミュニティ機能を維持し、高齢者も地域の行事に参加し、これからの六郷の地域づくりを討議できる土台を作る。	1,404
16	災害公営住宅住民と地域住民による地域の再生に向けた交流事業	鹿折まちづくり協議会	公営住宅、防災集団移転の参加者の半分以上が震災前から鹿折地区で生活していたが、震災から6年以上が過ぎた地域に戻っても居住環境の変化などによって住民同士、または地域住民との交流が進んでいない現状がある。そのような住民に対し、交流会、趣味の教室などを通じ地域との交流を促し「自分ごと」としてまちづくりに積極的に参加してもらった環境の構築を図ると共に、話せる場所の提供を進めていくことを目的とする。	586
17	子どものまち・いしのまき被災地で創る「子どもに優しいまち」プロジェクト	子どものまち石巻大人実行委員会	本プロジェクトは、被災地における子どもたちならびに保護者、子どもたちを支援する高齢者など様々な世代間交流を行いながら、まちづくりの仕組みを通して被災した中心商店街の活性化、遊び文化の伝承、被災した子どもたち、保護者、高齢者にとっての心の希望を創造していく活動である。具体的には子ども会議を実施しながら子どもたちの主体性を導き、こども店長となった子どもたちが、子どものまち・いしのまきに来る子どもたち、保護者、高齢者とともに「子どもに優しいまち」の仕組みづくりを通して創造的に遊びながら学ぶ活動である。	1,983
18	子どもの学び直し志誠塾「おおさき寺子屋」フォローアップ事業	特定非営利活動法人Synapse40	内陸部最大被害地の大崎市でも震災の風化が心配されている。沿岸部や原発事故からの生活再建者も多くいるが年々孤立傾向にある。また、そうした家庭も含めてひとり親家庭をはじめ準要保護児童生徒等の相対的貧困と言われる子ども達も多くいる。将来迎えるかもしれない経済的貧困の連鎖を食い止める社会的自立のために能力を磨き活かせる場となるようシニアサポーターの活躍の場と子ども・子育ての相談活動と居場所を提供して、生きがいを感じられる志誠塾「おおさき寺子屋」を支援する体制をつくる。	1,957
19	不登校・ひきこもり等の居場所と多様な学び実現プロジェクト	特定非営利活動法人ワーカーズコープ	震災を含む様々な理由で、生活困窮・不登校・ひきこもり状態等にある石巻市内の子ども・若者・中高年等を対象として、地域住民や企業、支援機関等と連携し居場所・学習・社会参加の機会を提供する事により主体性と自己肯定感を育み、多様な人々との交流を通じて石巻の魅力を感じ将来地域を支える意欲の形成を促進する。地域企業等や一般住民の参加を促し、ひきこもりの若者や中高年が地域の人々と交流機会を通じて、意欲喚起・社会参加等の多様な学びや成長につながる環境づくりを行う。	2,000
20	被災者支援・ふるさと東北支え合い運動	明るい社会づくり運動仙台地区推進協議会	・被災された方と生きる糧になる『生きがい』を共に創っていく仲間として継続的に支え合う・全国から東北を訪れる人を後押し、共に支え合える環境を提供する・応急仮設住宅、災害復興住宅でのお祭り開催支援(地域活性化)・東北以外住民と被災者の交流(震災風化防止)・東北以外の住民の漁業体験(震災風化防止、水産業)・災害復興住宅での定例趣味の会支援(ものづくり)・炭焼き事業支援による地域活性化(まちづくり)・応急仮設住宅での定例映画鑑賞会支援(世代間交流)	1,888
21	地域住民の生活再建、地域コミュニティの形成の促進プロジェクト	特定非営利活動法人生活支援プロジェクトK	災害公営住宅等へ転居する住民や元々地域で暮らしている住民の健康保持と、誰もが安心して暮らしていける地域を作る事を目的とする。地域住民が集まるフリースペースで、なんでも相談・体操や編み物・保健室・健康講話・おやつ作りなどを開催し、住民同士が繋がりを持つようそのきっかけづくりを行う。地域イベントの参加協力や学生のスタディツアーの受け入れ、他団体との協力体制を整える。	1,595
22	ベンシー「ネクストスイッチプロジェクト」	ベンシー	『地域を題材にしたクリエイティブ活動』をすることで、「ものを観察する力」「町全体を違う視点で捉える」ことを学ぶことでシビックプライドの醸成を図り、地域の資源を再定義していく。そして、グローバル化と同時に様々な学びを求められる子どもたちと一緒に、今日、どんな職業にも必要とされる表現力や創造力を子どもたちが地域格差なく育め、地方にいても多様な視点を持ち自分の力で選択肢の幅を増やしていける場を創造することを目的とする。	1,865
23	実践型「いのちの教育」による心の育み支援～健やかな未来のために～	尚綱学院大学エクステンションセンター	幼少期に震災を体験した子どもや震災直後に生まれた子どもたちが、今後どのような心の影響があるかは計り知れない。“生きる力”を育むための「いのちの教育」を実践し、より健やかな子どもたちの育成を支援する。そして、共に考え、助け合い、成長できる「新たなコミュニティ形成の場」を提供する。	992